

都市生活化の進む昨今の暮らしの中で、現代人の感覚器としての身体は気づかぬうちに鈍化しています。本プログラムでは、季節のうつろいや自然の機微を映す琵琶湖とその周辺でのワークショップを経て、ジャワ舞踊家である佐久間新がとらえた「水」をテーマとして創作し、発表します。築370余年の日本家屋と古庭園を舞台に身(からだ)と湖(環境)の境界を探求し、それらの関係を舞踊によって結びなおす新たな試み、ぜひご覧ください。

身・水・湖

み みず みずうみ

ジャワ舞踊家の佐久間新による身体表現

ゆるぐ境界



2019
11.17
(sun.)
ながらの座・座

13:30開場
14:00開演

〔参加費〕 一般 3,000円 / 学生 1,500円
(18歳以下・先着若干枚予定)

〔主催〕 ながらの座・座(元・正蔵坊と古庭園を楽しみ守る会)

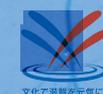
〔後援〕 滋賀県、滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会
文化・経済フォーラム滋賀

〔特別協賛〕 中山倉庫株式会社、滋賀石油株式会社

〔協賛〕 あさ・ひる・夕ごはん 豆藤

〔協力〕 NPO法人とんがるちから研究所、株式会社まっせ、
滋賀大学 環境総合研究センター

令和元年度
滋賀県「美の滋賀」プロジェクト推進事業



文化で滋養を元気に!

ZaZa

<http://nagara-zaza.net/>



行く川の流りは絶えずして、しかも元の水にあらず。

無色透明で、容れ物次第で自在に形を変える「水」。とても身近でありながら、どこか捉えどころのない不思議な存在です。私たち人間をはじめ、生き物の身体に入ったり出たりしながら、川を流れ、湖に注ぎ、雲となって、雨として再び山や川に降り注ぎ、身体と環境を媒介しています。

本プログラムは、ジャワ舞踊家の佐久間新が日本最大の湖を擁する滋賀の地で様々な「水」を手がかりに身体と環境の関係について探求し、そのゆらぐ境界を舞踊によって表現する試みです。

何事も白黒はっきりさせようとする現代社会。しかし、境界の曖昧性こそが多様で豊かな社会や文化を育んできました。身・水・湖——築370年の日本家屋と古庭園を舞台に展開する身体と環境のゆらぐ境界をぜひお楽しみください。

【会場】 ながらの座・座 <http://nagara-zaza.net/>

「ながらの座・座」とは、登録有形文化財「橋本家住宅(旧・正蔵坊)」とその庭園を総称したものです。歴史ある環境が次々と壊されていく時代にあって、古い日本建築の持つ柔らかな空間や自然のホールともいえる古庭園を「生き物」として慈しみ、ここから実現できるクオリティの高い様々なパフォーマンス、実験的な試みなどを積極的に取り上げることがコンセプトに、愉しみながら文化財を保存・維持することを目指しています。

プログラム program プログラムの構成は変更になる場合があります。

【前編】「身・水・湖—ゆらぐ境界」 14:00開演

ジャワ舞踊家である佐久間新のパフォーマンスを行います。ゲストミュージシャンに鈴木潤を迎え、水をテーマにした舞踊と音楽をお楽しみください。

《パフォーマーからのコメント》



ジャワ舞踊に、Banyu Miliという教えがある。Banyuは水、Miliは流れるという意味である。水が流れるように踊るのが真髄なのだ。ジャワ舞踊に限らず多くの踊りは、決められた振り付けに留まらず、生活様式、モノの考え方、自然や天体とも繋がっているとされている。アジアの舞踊を参考に、水をヒントに私たちの身体と環境との関わりを探求し、そこから新しいダンスを創造します。//佐久間新

【中編】「水のダンス」ワークショップ参加者による創作

佐久間新によるワークショップに参加したメンバーらが創作する「水のダンス」を発表します。ワークショップは、以下の内容で実施します。こちらも参加者が募集していますので、詳細はながらの座・座ウェブサイトをご覧ください。

【第1回】 水を感じるボディーワーク @ながらの座・座
2019年 10月 5日(土) 14:00~17:00頃(定員 20名)

【第2回】 湖を感じるダンスピクニック
@琵琶湖岸・西の湖周辺など(近江八幡駅集合/解散/貸切バスで移動)
2019年 10月 27日(土) 9:30~17:00頃(定員 20名)

【第3回】 小さな水と大きな水のパフォーマンス
@ながらの座・座 (参加対象:第1回または第2回に参加された方)
2019年 11月 17日(土) 10:00~16:00頃
第3回参加者は14:00からの公演にもご参加いただけます。

3回通し券 8,000円/各回 第1・3回 各2,500円、第2回 4,500円

【後編】アフタートーク 16:00頃終了予定

作品のコンセプトや創作プロセスを出演者らが紹介するとともに観覧者との対話の時間を持ちたいと考えています。

参加費 entry fee 参加費は当日受付で徴収します。

一般 3,000円/学生 1,500円
(18歳以下・先着若干枚予定)

申し込み・問い合わせ application & contact

ウェブサイトの申込フォーム (<http://nagara-zaza.net/contact/>) またはFAX(077-522-2926)にて住所、氏名、連絡先(携帯番号・メールアドレス)、ご希望の参加回を添えて、お申し込みください(申込先着順/定員になり次第終了)。



ながらの座・座 事務局 滋賀県大津市小関町3-1 アクセス→
Tel/Fax 077-522-2926 Mobile 090-8576-7999(橋本)

アーティスト プロフィール artists profile

メインパフォーマー

佐久間 新

ジャワ舞踊家。1968年大阪生まれ。20歳頃、流れる水のように舞うジャワの舞踊家ベン・スハルト氏に出会い、自分のご先祖さまに会ったと直感。その後、インドネシア芸術大学への留学を経て、現在は伝統舞踊におけるからだのありようを探求する中から様々なプロジェクトを推進。からだへの問いかけとそこから生まれる言葉で話す「からだトーク」(大阪大学)、障害のある人と新しいダンスを創る「ひるのダンス」(たんぼの家・奈良)、マイノリティの人とのダンス映像制作(CROSSROAD ARTS・オーストラリア)等。共著に「ソーシャルアート 障害のある人とアートで社会を変える」(学芸出版社)。



ゲストミュージシャン

鈴木 潤

鍵盤プレイヤー。作曲家。国内外のアーティストのレコーディングやライブ等で活躍後、ソロ活動を始める。日本家屋に合う小さな音の楽器ユニット「カネタタキ」、ストーリー音楽(絵本と即興演奏「おはなしピアノ」)や人形劇の劇伴作曲)など幅広く活動。演奏活動と並行して2000年頃から、完全放置型の即興創作音楽ワークショップ「音の砂場」を全国の幼稚園、障害者施設、老人ホームなどで続けている。

2018年には自分のリーダーバンド“yarn [より糸]”を結成(ピアノ、コントラバス、ドラム3人のインストバンド www.yarn3.com)し、2019年から活動開始。
www.suzukijun.com

